

6.診療科別主要手術別患者数（診療科別患者数上位 5 位）

症例数の多い手術件数を各診療科別に集計しました。項目はKコードに対する患者数、平均術前日数、平均術後日数、転院率、平均年齢、患者用パスの有無で、上位 5 位を掲載しております。

定 義

手術術式の点数表コード(Kコード)による集計とし、輸血関連(K920\$)や創傷処理などの軽微な手術、加算等は除外とする。

●指標に示されるそれぞれの用語は以下の通りです。

◇Kコード：医科点数表で定められた、手術に対する点数表コードです。

◇患者数：10未満の数値の場合は、－（ハイフン）で表記。

◇術前日数：入院日から手術日まで(手術日当日は含まない)の平均日数です。

◇術後日数：手術日(手術日当日は含まない)から退院日までの平均日数です。

◇転院率：該当する手術のうち、退院先が「他の病院・診療所への転院」となった患者の割合。

◇患者用パス：入院時に患者さんにお渡しするクリニカルパスの略。

クリニカルパスとは、治療や看護の手順を標準化し、診療の効率化を図る入院診療計画で、検査・治療・手術・ケアなどの内容を時間軸に沿ってスケジュール表(パス表)にまとめたものです(症例によってクリニカルパスは異なります)。患者用パスの「あり」をクリックすると該当のクリニカルパスが表示されます。

【循環器内科】

Kコード	名称	患者数	術前日数	術後日数	転院率	平均年齢	患者用パス
K616-41	経皮的シャント拡張術・血栓除去術（初回）	38	0.03	1.00	0.00%	70.11	あり
K616	四肢の血管拡張術・血栓除去術	19	0.89	2.79	0.00%	73.42	あり
K5461	経皮的冠動脈形成術（急性心筋梗塞）	19	0.11	16.00	0.00%	67.63	あり
K5493	経皮的冠動脈ステント留置術（その他）	17	2.88	3.00	0.00%	68.18	あり
K5492	経皮的冠動脈ステント留置術（不安定狭心症に対するもの）	11	0.27	19.82	0.00%	75.27	あり

解 説

循環器内科では、人工透析を行っている患者さんのシャント狭窄・閉塞に対するカテーテル治療を積極的に行っています。また、閉塞性動脈硬化症に対して四肢の血管拡張術・血栓除去術や、虚血性心疾患に対する冠動脈ステント留置術・冠動脈形成術も多く行っています。カテーテル治療は、手首や足の付け根から心臓まで管を通して病変を治療する方法です。急性心筋梗塞に対する冠動脈手術では救命の為、一刻も早く治療を開始する必要があります。

【消化器内科】

Kコード	名称	患者数	術前日数	術後日数	転院率	平均年齢	患者用パス
K7211	内視鏡的大腸ポリープ・粘膜切除術（長径 2cm 未満）	140	0.12	1.24	0.00%	65.15	あり
K688	内視鏡的胆道ステント留置術	43	2.14	8.19	4.65%	77.40	なし
K6871	内視鏡的乳頭切開術 乳頭括約筋切開のみのもの	26	2.12	5.92	3.85%	72.92	あり
K7212	内視鏡的大腸ポリープ・粘膜切除術（直径 2 cm 以上）	22	0.55	2.68	0.00%	68.27	あり
K6532	内視鏡的胃粘膜切除術 早期悪性腫瘍胃粘膜下層剥離術	17	1.00	5.76	0.00%	77.29	あり

解 説

消化器内科では大腸ポリープ、胆管結石での入院が多くなっています。大腸ポリープ切除術では、内視鏡を用いてポリープの切除を行います。術後の経過をみて、多くの場合は 1 泊 2 日で退院となります。胆管結石では内視鏡的乳頭切開術や内視鏡的胆道結石除去術と共に内視鏡的胆道ステント留置術を行い、結石の摘出や胆管狭窄、胆管の炎症などに対しての治療を行います。また、早期の胃癌に対しては内視鏡にて粘膜下層剥離術を行うことで、身体への負担を軽くしつつ癌を取り除くことができ、早期退院が可能となっています。

【外科】

Kコード	名称	患者数	術前日数	術後日数	転院率	平均年齢	患者用パス
K672-2	腹腔鏡下胆嚢摘出術	66	2.65	3.92	0.00%	62.64	あり
K634	腹腔鏡下鼠径ヘルニア手術	36	1.22	2.56	0.00%	71.53	あり
K718-21	腹腔鏡下虫垂切除術（虫垂周囲膿瘍を伴わないもの）	21	0.81	2.95	0.00%	49.57	あり
K4765	乳腺悪性腫瘍手術 乳房切除術（胸筋切除を併施しない）	14	1.93	17.86	0.00%	65.36	あり
K7434	痔核手術 根治手術	13	1.00	2.62	0.00%	51.38	あり

解 説

腹腔鏡下胆嚢摘出術は開腹して行う胆嚢摘出に比べて、術後の疼痛や身体への負担が少なくなるため、胆のう結石や胆のう炎に対して多く行っています。また、入院期間の短縮にもなるので、鼠径ヘルニアや虫垂切除の手術でも腹腔鏡下で行う場合が多くなっています。

乳癌や痔核の手術も行っており、乳腺悪性腫瘍手術では患者さんの状態に合わせて乳房部分切除やリンパ節郭清も積極的に行っています。

【整形外科】

Kコード	名称	患者数	術前日数	術後日数	転院率	平均年齢	患者用パス
K0461	骨折観血的手術（大腿・上腕）	93	2.32	18.28	53.76%	79.39	あり
K0462	骨折観血的手術（前腕・下腿）	45	3.60	10.53	8.89%	62.58	あり
K0811	人工骨頭挿入術（股）	42	3.48	23.36	73.81%	83.69	あり
K0301	四肢・躯幹軟部腫瘍摘出術（前腕・下腿・躯幹・上腕・大腿・肩）	40	1.20	1.93	0.00%	55.95	あり
K0821	人工関節置換術（股・膝）	17	4.06	17.65	29.41%	74.71	あり

解 説

整形外科で最も件数が多い手術は骨折観血的手術です。その中でも大腿骨近位部（頸部・転子部）の症例が上位であり、骨粗鬆症を併発している高齢の女性が患者さんの多くを占めています。また、骨接合ではなく人工頭骨挿入術を行うケースも多く、こちらも3番目に多い手術となっています。当院の特徴としては、骨・軟部腫瘍の症例が多く、良性・悪性問わず腫瘍切除術を行っています。上記の腫瘍部位以外にも、手・足の手術も行っており、良性・悪性で手技が分かれますが、いずれも上位の件数となっています。

【脳神経外科】

Kコード	名称	患者数	術前日数	術後日数	転院率	平均年齢	患者用パス
K164-2	慢性硬膜下血腫穿孔洗浄術	15	3.00	10.60	33.33%	79.47	なし
K1771	脳動脈瘤頸部クリッピング (1箇所)	-	-	-	-	-	-
K1692	頭蓋内腫瘍摘出術(その他)	-	-	-	-	-	-
K178-4	経皮的脳血栓回収術	-	-	-	-	-	-
K160-2	頭蓋内血微小血管減圧術	-	-	-	-	-	-

解 説

慢性硬膜下血腫穿孔洗浄術が当科で最も多く行われています。慢性硬膜下血腫は軽症頭部外傷から1～2ヶ月後に発症し、脳卒中を疑われ救急搬送されることが多く、入院早期に穿孔洗浄術を行います。侵襲の少ない手術であるため、高齢者でも適応となります。

その他に件数は多くありませんが、脳動脈瘤クリッピング術、経皮的脳血栓回収術、開頭での脳腫瘍摘出術や血腫除去術、頭蓋内血微小血管減圧術などを適応に応じて行っております。上記のうち、経皮的脳血栓回収術はカテーテルを用いて血栓を除去し閉塞血管を再開通させる治療であり、脳塞栓急性期の患者さんを対象に緊急で行っております。脳梗塞の症例では一般にリハビリ病院への転院を要しますが、早期の再開通によって予後の経過が良好となり、転院せずに退院となることもあります。

【泌尿器科】

Kコード	名称	患者数	術前日数	術後日数	転院率	平均年齢	患者用パス
K7811	経尿道的尿路結石除去術（レーザー）	90	1.16	2.64	0.00%	60.81	あり
K783-2	経尿道的尿管ステント留置術	78	0.46	3.17	1.28%	66.42	あり
K8036 イ	膀胱悪性腫瘍手術（経尿道的手術）（電解質溶液利用）	28	1.71	8.75	3.57%	72.82	あり
K841-21	経尿道的レーザー前立腺切除・蒸散術（ホルミウムレーザーを用いるもの）	28	1.75	5.18	0.00%	71.57	あり
K6121 イ	末梢動静脈瘻造設術（内シャント造設術）（単純）	13	16.85	23.15	0.00%	69.23	なし
K841-7	経尿道的前立腺水蒸気治療	13	0.69	5.23	0.00%	84.31	あり

解 説

経尿道的尿路結石除去術は、尿道から細径の内視鏡を挿入しレーザーで結石を破石する手術です。結石が尿管の狭窄を起こす可能性がある為、この手術の前に経尿道的尿管ステント留置術を行うことが多いです。膀胱悪性腫瘍手術は、尿道から内視鏡を膀胱へ挿入し電気メスで膀胱腫瘍を切除します。経尿道的レーザー前立腺切除術は、尿道を圧迫している腫大した前立腺を内視鏡で数個に分けて核出します。核出した前立腺は、膀胱内で機械を使って細かくして摘出します。従来は開腹手術が選択されるような大きな前立腺にも適応しています。末梢動静脈瘻造設術（内シャント造設術）は、慢性腎不全の症例に対し血液透析を導入する際、前腕に動静脈吻合を行い透析シャントを造設します。またシャント部分が閉塞した場合、位置を変え造設するケースもあります。経尿道的前立腺水蒸気治療は、高温の水蒸気を用いて前立腺を縮小させます。低侵襲かつ異物を体内に残さずに治療することが可能です。当院ではこの治療を 2024 年から開始しています。

【婦人科】

Kコード	名称	患者数	術前日数	術後日数	転院率	平均年齢	患者用パス
K877-2	腹腔鏡下腔式子宮全摘術	158	1.18	4.80	0.00%	48.06	あり
K8882	子宮附属器腫瘍摘出術 腹腔鏡によるもの	120	0.96	3.37	0.00%	39.78	あり
K872-2	腹腔鏡下子宮筋腫摘出 (核出) 術	61	1.02	4.30	0.00%	39.03	あり
K867	子宮頸部(腔部)切除術	47	0.06	2.00	0.00%	40.45	あり
K861	子宮内膜搔爬術	42	1.00	0.17	0.00%	48.98	あり

解 説

子宮筋腫や子宮内膜症に対して、腹腔鏡下子宮摘出術・子宮筋腫核出術などを施行しています。卵巣のう腫に対しては、子宮附属器摘出術と核出術を施行しています。

【産科】

Kコード	名称	患者数	術前日数	術後日数	転院率	平均年齢	患者用パス
K8982	帝王切開術(選択帝王切開)	98	1.79	5.97	0.00%	34.18	あり
K8981	帝王切開術(緊急帝王切開)	41	2.05	5.98	0.00%	31.34	あり
K8721	子宮筋腫摘出(核出)術 腹式	-	-	-	-	-	-
K893	吸引娩出術	-	-	-	-	-	-
K8881	子宮附属器腫瘍摘出術 開腹によるもの	-	-	-	-	-	-

解 説

分娩件数の減少に伴い帝王切開数自体も減少しています。適応は胎児機能不全や母胎合併症などさまざまありますが、緊急帝王切開に関しては麻酔科専門医に麻酔を依頼しています。また新生児の状態によっては、小児科医の立ち合いによる蘇生を行う事で母児ともに健康で出産を迎えることが出来ております。

【眼科】

Kコード	名称	患者数	術前日数	術後日数	転院率	平均年齢	患者用パス
K2821ロ	水晶体再建術（眼内レンズを挿入する場合）（その他）	257	0.05	1.01	0.00%	76.37	あり
K2801	硝子体茎頭微鏡下離断術（網膜付着組織を含む）	16	2.63	6.75	6.25%	71.31	あり
K224	翼状片手術（弁の移植を要するもの）	-	-	-	-	-	-
K279	硝子体切除術	-	-	-	-	-	-
K2802	硝子体茎頭微鏡下離断術 その他のもの	-	-	-	-	-	-

解 説

眼科入院の多くは、白内障手術（水晶体再建術）を行っています。ほとんどの患者さんが、入院日に局所麻酔にて手術を行い術後の状態を見て翌日退院となります。また、身体への負担を軽減するために、片眼の手術後に一度退院し、後日再入院して反対側の眼の手術を受けられる患者さんも多くいます。次いで挙げられるのが、網膜前膜などに対して行われる硝子体茎頭微鏡下離断術です。同時に水晶体再建術も行いう事もあります。術後に連日眼科検査を行い、約1～2週間の間に退院となっています。

【耳鼻咽喉科】

Kコード	名称	患者数	術前日数	術後日数	転院率	平均年齢	患者用パス
K340-5	内視鏡下鼻・副鼻腔手術3型 （選択的（複数洞）副鼻腔手術）	36	1.00	6.53	0.00%	51.33	あり
K3772	口蓋扁桃手術 摘出	29	1.00	7.10	0.00%	11.97	あり
K340-6	内視鏡下鼻・副鼻腔手術4型 （汎副鼻腔手術）	15	1.20	6.87	0.00%	55.60	あり
K368	扁桃周囲膿瘍切開術	11	0.00	4.36	0.00%	34.45	なし
K340-4	内視鏡下鼻・副鼻腔手術2型 （副鼻腔単洞手術）	-	-	-	-	-	-

解 説

耳鼻咽喉科で多い手術は、内視鏡下鼻・副鼻腔手術です。アレルギー性鼻炎や鼻中隔彎曲症も併発している患者さんが多く、同時に鼻甲介手術や鼻中隔矯正術も同時に行います。次いで多いのが、慢性扁桃炎や扁桃肥大に対して行う口蓋扁桃摘出術で、同時にアデノイド手術を行うこともあります。また、扁桃周囲膿瘍切開術も多く実施している手術の1つです。扁桃周囲膿瘍切開術で入院する患者さんの多くが、症状の悪化に伴い緊急入院で手術を行うことがあります。